

湖南省都市計画マスタープラン【第3版】概要版

都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランは、具体的に地域の都市づくりの課題や土地利用計画をはじめとする都市づくりの方針を明らかにした都市計画に関する最も基本的な計画です。

今回の見直しは、これまでのまちづくりを振り返り、新たに策定された「第三次湖南省総合計画」などの上位計画と整合を図りつつ、10年先の都市づくりの方針を明らかにするものです。

◆計画の役割

- ① 実現すべき具体的な都市の将来像を明らかにする
- ② 具体的な都市計画の決定・変更の指針となる
- ③ 個別の都市計画相互の調整を図る
- ④ 市民や事業者の理解、具体の都市計画の合意形成を図る

都市づくりの理念

「笑顔がつながる 心が弾む 都市づくり」
～産業が息づき、ずっとここに暮らしたいと思えるまち～

都市づくりの基本目標

- 目標1 活力とにぎわいを創出する都市づくり
- 目標2 人と地域がつながるネットワークのある都市づくり
- 目標3 豊かな環境、美しいまちなみを受け継ぐ都市づくり
- 目標4 住み続けたいと思える都市づくり
- 目標5 多様な人財の参画と協働による都市づくり
- 目標6 安心・安全で暮らしやすい都市づくり

●策定の経緯

湖南省都市計画マスタープラン
(2008年11月)

改訂 湖南省都市計画マスタープラン
(2021年3月)

湖南省都市計画マスタープラン【第3版】
(本計画)

◆計画の目標年次

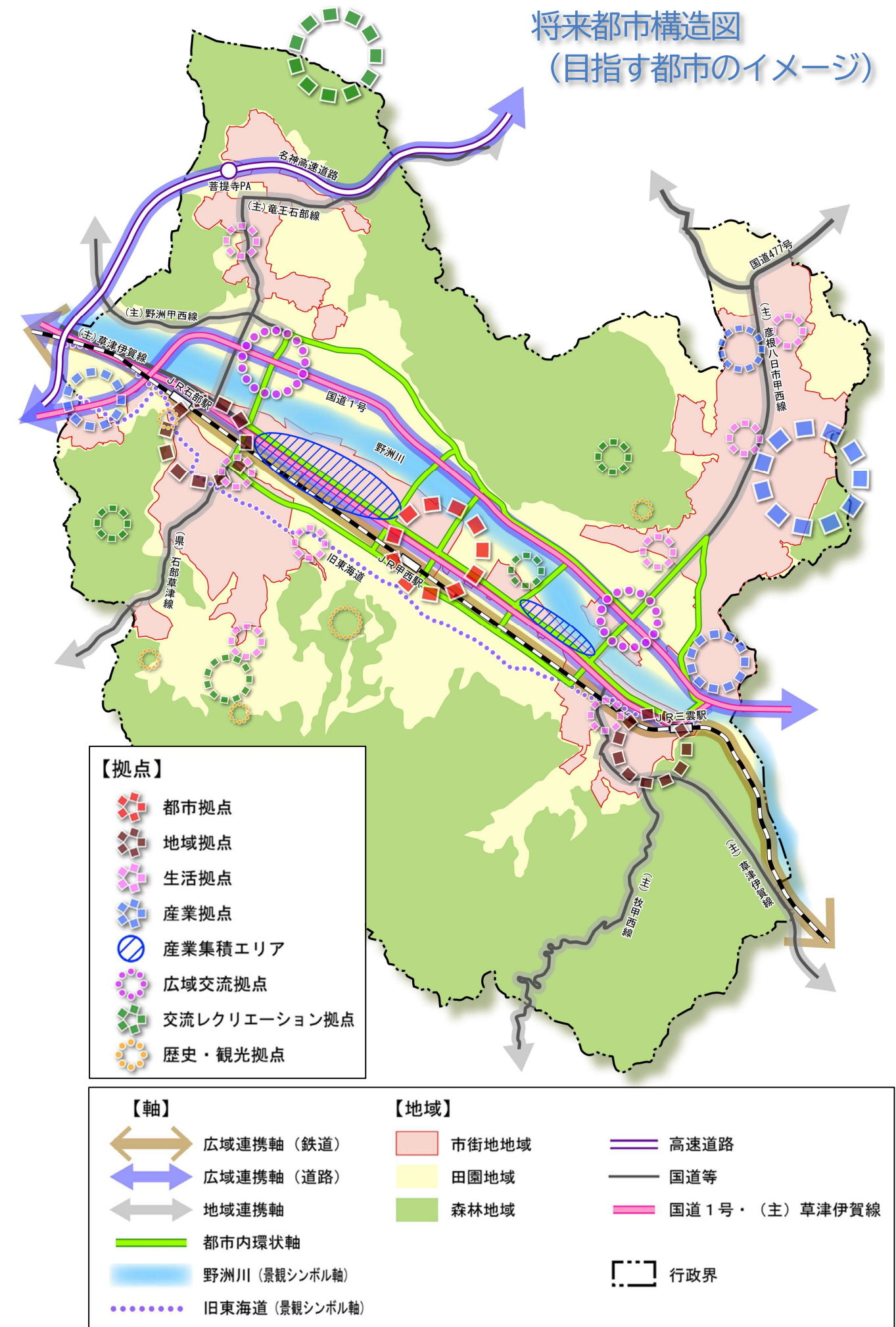
おおむね20年後の都市の姿を展望しつつ、第三次湖南省総合計画の計画期間と整合を図り、2035年度(令和17年度)を目標年次として定めます。

目指す将来都市構造

JR甲西駅・石部駅・三雲駅に都市機能の集約を進めるとともに、市街地と各拠点を結ぶ交通ネットワークを整備することで湖南省の実態を踏まえた**コンパクト・プラス・ネットワーク**の都市づくりを目指します。

人口減少や高齢化に対応するために、都市機能を集約(**コンパクト化**)し、それらを公共交通で結ぶ(**ネットワーク化**)こと

将来都市構造図 (目指す都市のイメージ)



分野別の都市づくりの基本方針

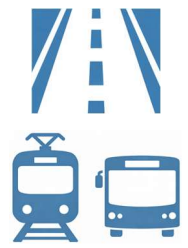
(1) 土地利用の方針

- ・「コンパクト・プラス・ネットワーク」型の都市構造を推進
- ・ＪＲ草津線３駅を拠点に公共交通で各地域を結び、持続可能で魅力的な都市づくりを推進
- ・ＪＲ甲西駅を核とする中心市街地では、多様な都市機能と良好な住環境を両立
- ・企業の成長に対応するため、幹線道路沿いで市街化区域を計画的に拡大
- ・既成市街地における空き家・空き地の積極的な活用
- ・住宅開発が望ましくない地域の居住調整地域の指定や市街化調整区域への逆線引きを検討



(2) 交通体系の方針

- ・「都市拠点および地域拠点を中心とする交通結節機能の強化」と「各拠点間の交通ネットワークの形成・充実」による持続可能な誰もが移動しやすい交通環境の実現
- ・「主要幹線道路の交通渋滞対策」と「インターチェンジ周辺の機能強化」による工業都市としての魅力向上
- ・通勤や通学、高齢者の移動手段としての公共交通の維持
- ・公共交通の利便性の向上と新たな移動手段の導入の検討



(3) 公園・緑地の方針

- ・豊かな自然環境の保全を重視しつつ、公園や緑地を多様な人々が交流し、活動できる居場所として整備
- ・緑の持つ環境調整機能や観光資源としての価値を最大限に活かし、市民や事業者と連携した協働により、持続可能で環境にやさしい緑のネットワークを形成
- ・これらの取組を通じて、地域の豊かな自然や文化資源と調和し、魅力的で快適な都市空間を実現



(4) 景観づくりの方針

- ・森林や田園、河川など多様な自然景観の適切な保全
- ・歴史的建造物や伝統的なまちなみの価値の市民との共有、次世代への継承
- ・住民が愛着と誇りを持って景観づくりに取り組む環境の整備
- ・誰もが心地よくほっと和めるふさと景観の創造



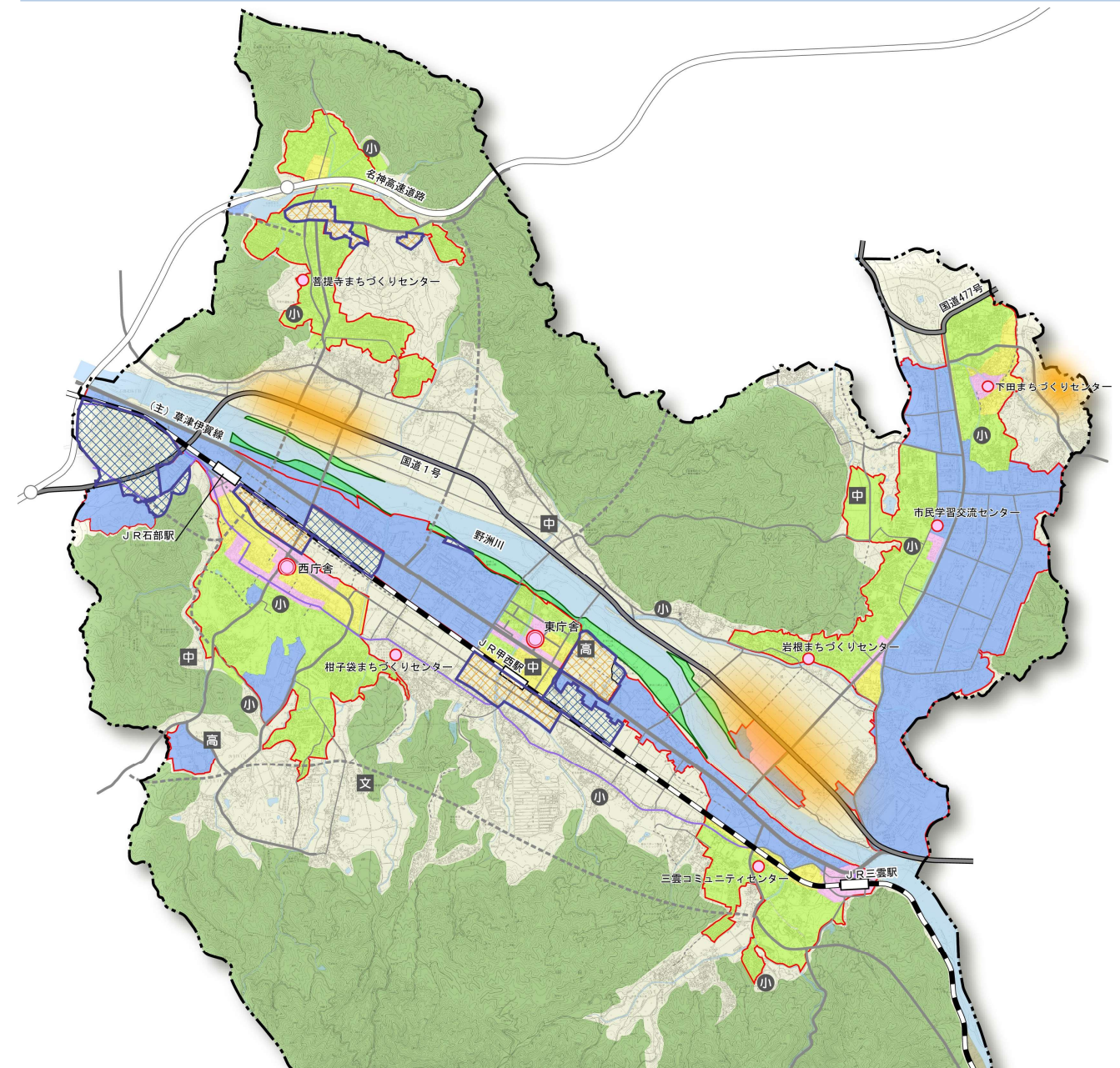
(5) 河川、その他の都市施設の方針

- ・河川環境の安全性と自然環境の保全を両立させ、計画的な整備と適切な維持管理を推進
- ・上下水道やその他の都市施設についても、長期的な視野で施設の最適化を図り、持続可能な都市環境を形成



(6) 安心・安全都市づくりの方針

- ・災害に強いまちを目指し、治山・治水対策、ライフライン強化、市街地の防災性向上、避難施設を充実
- ・防犯環境の整備や地域活動の活性化による、犯罪の起こりにくい安全なコミュニティの形成
- ・公共施設のバリアフリー化や公共交通の利便性向上を通じた、誰もが快適に暮らせるユニバーサルデザインのまちの実現
- ・地域、事業者、行政が一体となった防災・防犯意識の向上と連携体制の強化による、持続可能な安心・安全な都市空間の創造



凡例		行政界		高速道路		専用居住ゾーン		森林環境保全エリア
		市街化区域		国道		複合居住ゾーン		レクリエーションエリア
		河川等		県道、主な市道等		商業・業務ゾーン		市街地拡大区域
		行政サービス機能（出張所）		旧東海道		産業振興ゾーン		産業振興区域
		学校教育施設		J R 草津線		農地・集落地エリア		計画的開発誘導区域

※道路の破線は湖南市道路整備計画対象路線

計画の実現に向けて

◆駅周辺整備の戦略的な推進

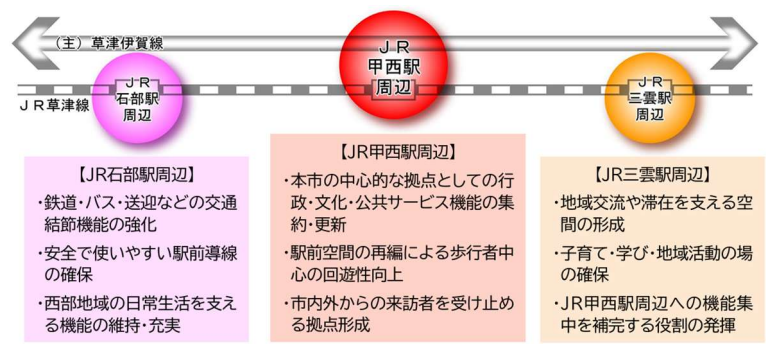


図 駅周辺での取組み例

◆計画の進捗管理

本計画の着実な推進を図るため、既存の庁内検討組織を活用し、関係部局が連携しながら年度毎の施策・事業の進捗状況の確認、課題の共有を行い、横断的・継続的に計画の推進を図ります。

上位・関連計画との連携・調整を図りつつ、P DCAサイクルによる進捗管理を行います。

施策や事業の進捗状況については、市民へわかりやすく情報を公表し、市民の理解と協力を得ながら計画の推進を図ります。